

だっ 脱 穀

だっこく 脱穀とは？

か と いね もみ と はず 刈り取った稲から、籾を取り外すこと。



① 1週間ほど前に、5・6年生が1階ワークスペースに稲を取り込んでおいてくれました。ブルーシートに広げると、こんなにたくさんありました。

② 保護者の方から一束ずつ稲を受け取ります。高学年は多め、低学年はちょっと少なめ。

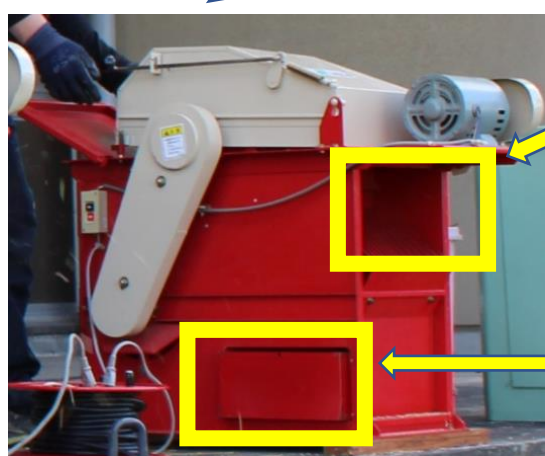


③ 稲を受け取ったらテラスに出て、さっそく脱穀です。今年は「NOSAI」から4台の脱穀機を貸していただきました。1台に一人ずつ保護者の方がついてくれて、「もう少し稲の根元をもつといいよ」「音がパチパチしなくなったから、もう終わりでもいいよ」など教えてもらいながら、どんどん脱穀していきます。

籾(お米)をとった後の「わら」は、まとめて学級園のうらに置きます。



だっこく あと 脱穀した後、どうなっているかというと…



小さなわらくずは、風で飛ばされて、ここから出てきます。

機械に入れてとれた籾(お米)は、この四角いところにたまっていきます。箱のなかがいっぱいになったらとり出して、「てみ」に入れます。

てみ



籾(お米)を「てみ」に入れて、上下左右にゆすります。すると、混っていた「わら」が上のほうにでくるので、取りのぞきます。



保護者の皆さんに教えてもらいながら、全校児童で協力して、無事に脱穀が終わりました。今年の籾は全部で6袋分でした。この中には小さな「わら」も混じっています。次は「籾すり」をします。籾すり後はどのくらいの量になるかな？